



39

にかりょうようすい しゅくが わらせん 二ヶ領用水(宿河原線)

神奈川県川崎市多摩区宿河原

川崎市は神奈川県東北端に位置し、臨海部及び東部は基礎素材型工業、中央部は先端技術型工業により発展し、西部は多摩丘陵に連なる洪積層台地により、東京近郊住宅地として発展している多面性をもつ街である。〔文化・観光〕日本民家園、フルーツパーク、東高根森林公園、夢見ヶ崎動物公園、多摩川花火大会、市民祭り、梨のもぎとり

しかし最近になって、用水周辺が貴重な水辺空間として再認識されるようになり、これにもなつて環境整備を図ることとし、親水性護岸を築造した。河川周辺の樹齢三〇年ほどの桜並木を保持するとともに、つつじの植栽、川底への玉石の布設など、だれもが水辺に近づき、水遊び、花見などを自由に楽しめる散策道として、くつろぎの空間に生まれかわった。

この用水は、今から約四〇〇年前、徳川家康の命をうけた小泉次大夫が幾多の歳月をかけて完成させたものであるが、歴史的な意義をもち市民に親しまれてきたこの用水も、社会環境の変化にともない荒廃し、昔日の面影が失われつつあった。

二ヶ領用水は多摩川を水源とし、川崎市の田畑をうるおし、飲料用水としても利用され、川崎市の社会的、経済的發展に寄与してきた。

